

E.T.C. 「教育をタイムリーにチェンジする」



長野県総合教育センター通信

しののめ

2018/12/25
(平成30年12月号)
第116号

〒 399-0711 長野県塩尻市大字片丘字南唐沢 6342-4 (企画調査部)
TEL (0263) 53-8802 FAX (0263) 51-1290 E-mail : kikaku@edu-ctr.pref.nagano.jp

目次

研修講座から	1
单元をつくろう⑧ (総合)	2
センター研究協議会のご案内	3

研修講座から

未来を創造する人材育成～ソーシャル・イノベーションから考える～(7月19日)

この講座は、次のようなねらいで開講し、17名の方が受講しました。

<講座のねらい>

- ・産業構造の変化による社会が求める人材の変化を理解し、学習指導要領改訂に対応するため産業教育を通して生徒に何を身に付けさせるのかを対話を通して考える。
- ・これからの産業社会に必要とされる人材の育成について、ソーシャル・イノベーションの立場から考える。
- ・産業教育の強みを生かし、未来を創造する人材育成を、受講者同士の対話から考え、明日から実践できることを共有する。

<講座の主な内容>

(講義・演習) 産業界の求める資質・能力と今後の人材育成

長野県総合教育センター 専門主事 齋藤美幸

(講義・演習) ソーシャル・イノベーションの視点から産業教育を考える

長野県立大学教授(ソーシャル・イノベーション創出センター長) 大室悦賀

(研究協議) 未来を創造する人材を育成するためにすべきこと

◆◆◆受講者アンケートから◆◆◆

- ・新たな視点やフレームを持てるように立体的に物事をとらえられるようにしていきたい。
- ・自分たちの考え方を変えないと、新たな社会に対応できる人材は育成できないなと感じました。

講座の様子



単元をつくらう⑧

総合的な学習の時間 編

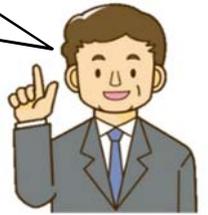


ミガコ先生

総合的な学習の時間を、探究的な学習にしていくためには、学習の過程をどのようにデザインしていけばよいのでしょうか。

まずは、単元で育成する資質・能力を考え、「課題の設定」「情報の収集」「整理・分析」「まとめ・表現」の探究のプロセスを意識し児童生徒の姿を具体的にイメージしながら単元展開を大きく考えてみましょう。

例えば「デイサービス訪問で心の輪を広げよう」(中学校第1学年)の単元では・・・



つなぐ先生

単元や題材など内容や時間のまとまりを見通した、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善(例)

【学 年】 中学校第1学年

【単元名】 デイサービス訪問で心の輪を広げよう (15時間扱い)

【育成する資質・能力】 【思考力、判断力、表現力等】

全体計画における資質・能力	単元計画における資質・能力
<ul style="list-style-type: none"> 複雑な問題状況の中から、適切に課題を設定する。 課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える。 異なる意見や他者の考えを尊重したうえで、自分の考えを分かりやすく伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ふれ合ったお年寄りの様子から問いを見だし、自分で課題を立てる。 職員の方の話や自分の祖父母との比較から情報を集め、整理・分析し、お年寄りと楽しめることを考える。 ポスターセッションで自分の考えを明確に伝える。

【主な学習活動と留意点】

前単元からのつながり：「職場体験で学ぼう」 職場体験を通して、仕事の大切さを学んだ。
・どんな仕事内容があるか調べたり、体験したりして情報を集める。

働かせる見方・考え方：交流を多様な角度から俯瞰して捉え、自己の生き方を問い続けること。

対 象	学習活動 (時間)	留意点
対象と出会い 出会い課題をもち	1 1回目の訪問(2) ・お年寄りの方の様子を知る。 ・今後の関わりを考える。	<p>対象と出会い、問いを見出す場面</p> <p>☞1回目の訪問の様子から、体験を通して一人一人が関心を持ち、問いを見いだせるようにしましょう。</p> <p>問い：お年寄りの方と仲良くなるには、どうしたらよいだろうか。</p>
	2 お年寄りの方と楽しくするにはどうしたらよいか考える(2)	<p>自ら課題を設定し、追究の見通しをもつ場面</p> <p>☞自分が追究したい課題を、一人一人が設定し、何が解決に役立つかを見通せるようにしましょう。</p>
繰り返し対象へ働きかけ	3 今後の交流について考え、デイサービスの職員の方から話を聞く(2)	<p>個人・グループで情報を収集し整理・分析する場面</p> <p>☞目的意識をもって、見学・調査・探索・体験など、自覚的に情報を収集する学習活動を行いましょう。</p> <p>☞お年寄りの様子など交流上の課題を解決するために必要な情報を整理・分析し、友の考えとの比較や関連付けにより、自分なりの考えをもてるようにしましょう。</p>
	4 どんなことをしていったらよいか検討する(4)	
自分の考えをまとめる	5 やってみたい交流内容をまとめ、ポスターセッションを行う(3)	<p>まとめ・表現をし、自己の学びを自覚する場面</p> <p>☞自分自身の考えとしてまとめる学習活動を設けましょう。</p> <p>☞友と意見を交流し、様々な視点から自分の関わり方を見つめ直す場を設定しましょう。</p>
	6 2回目の訪問(2)	

次単元へのつながり：「お年寄りの皆さんと一緒にクリスマス会をやるよ」
・お年寄りの行動や様子から、自己の生き方を考える。

【まとめ・表現】

◆自らの変容(一方的なコミュニケーションから相手の思いに気付き、さらに相手に寄り添ったコミュニケーションへ)を自覚し、課題が更新されながら資質・能力の向上を図ります。このような探究のプロセスの中で、お年寄りとの関わりだけでなく、交流(人との関わり)の本質を探究し、自己の生き方を考えていくことにつながっていきます。

お年寄りの方に喜んでもらうために積極的に話しかけていこう。

【課題の設定】

◆最初の訪問を振り返り、「問い」を設定し、自らの課題と追究の見通しがもてるようにしましょう。

積極的に話しかけても、うれしそうじゃないお年寄りの方もいた。自分の接し方がいけなかったのかな。見直していく必要がありそうだ。デイサービスの方にも聞いてみたい。

【情報の収集】

◆調査内容を焦点化した上で、調査活動に向かうようにしましょう。

積極的に話しかけられるよりも、自分の話を聞いてほしいと思っているお年寄りの方もいると聞くことができた。

【整理・分析】

◆調査内容を整理する際には、付箋紙や表等を使うと、分類や関連付けがしやすくなります。

お年寄りの方の中には自分たちと同じ時期の出来事や体験、得意なことなどを語られる方も多く、勉強になったと友達も言っていた。一方的に話されるよりもご自身の経験や話を聞いてほしいと願う方も多そう。

2回目の訪問は、一方的に話しかけず、まずお話を聞き、その上で質問したり話したりしてみよう。そして学んだことを紹介クイズなどにして、今後の交流会で発表してみてもいいかな。

平成30年度

長野県総合教育センター

あなたの学びを加速する！

センター研究協議会

平成31年2月19日(火)

9:40～16:10(受付9:10～9:35)

総合教育センターが取り組む学校教育に関する研究成果の発表により、県内の各学校・教育関係機関等における研究活動の充実、教員の指導力の向上に資することを目的として開催します。

午前：分科会(研究発表・協議)

分科会
A

希望研修を学校づくりに活用する
OUTPUTの在り方
～小学校外国語活動・外国語～

分科会
B

小学校プログラミング教育
～校内研修の在り方について～

分科会
C

探究的な学びに焦点を当てた
カリキュラム・マネジメント

分科会
D

「チームとしての学校」を
サポートするために

分科会
E

各校におけるICT活用と
推進のためのポイント
～初めての活用を支援～

分科会
F

平成の教育改革の変遷

午後：全体会

テーマ：平成の教育改革をふりかえる

全体発表 「平成の教育改革の変遷」

講演 「次の時代の日本社会と、
これからの学校教育に期待すること」(仮)

講師 波頭 亮 氏 (株) XEED 代表



東京大学経済学部(マクロ経済理論及び経営戦略論専攻)を卒業後、マッキンゼー&カンパニー入社。
1988年独立、経営コンサルティング会社(株)XEEDを設立。
幅広い分野における戦略系コンサルティングの第一人者として活躍を続ける一方、明快で斬新なビジョンを提起するソシオエコノミストとしても注目されている。

- 会場 長野県総合教育センター 〒399-0711 長野県塩尻市片丘南唐沢6342-4
- 参加費 無料
- 参加申込み センターホームページの入力フォームより、研修講座の申込み同様、
教頭先生を通じてお申し込みください。 <締切日 平成31年1月31日(木)>
(定員に達した分科会は申込を締め切ります)

長野県総合教育センター ホームページ URL : <http://www.edu-ctr.pref.nagano.jp/>